

⑤ 自然の災害

自然の災害のうち、損害の最も甚しいものは台風、地震、洪水、旱ばつである。特に私達の村は、那賀川三角洲の上にあるために、其の被害が一層甚だしかつた。其の主なるものについて、村に特に関係の深かつたものを年代順に調べてみよう。

(1) 天保一六年六月二四日(一三六一) 地震、津波

(2) 天保一六年七月二四日(一三六一) 地震、津波

(3) 天正十年九月五日(一五八二) 大洪水

(4) 天正十二年(一五八四) 大水

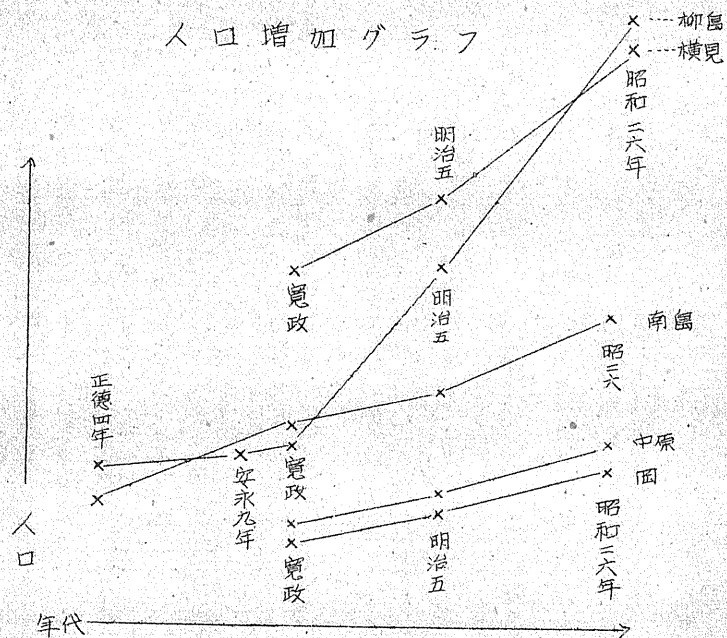
(5) 同(一五八四) 大地震

(6) 貞享四年九月(一六八七) 大水

(7) 宝永四年十月十四日(一七〇七) 大地震

(8) 享保九年(一七二四) 大旱ばつ

人口増加グラフ



- (9) 享保十年 (一七二五) 大旱はつ蝗害
- (10) 享保十三年 (一七二八) 大凧雨
- (11) 享保十四年 (一七二九) 大水
- (12) 享保十六年 (一七三一) 大凧雨
- (13) 享保十七年 (一七三二) 蝗害
- (14) 明和八年夏 (一七七二) 洪水
- (15) 安永三年秋 (一七七四) 大水
- (16) 文政四年 (一八二一) 大旱はつ今三編く
- (17) 文政五年 (一八二二) 大旱はつ農作物の検見なし
- (18) 天保七年七月六日 (八三三) 暴凧雨
- (19) 弘化元年 (一八四四) 竹に突がはる津ノ峯の山笹の突は麦の杯で、一日に一斗も取つて帰る者があつた。
- (20) 弘化三年 (一八四六) 根笹<sup>まき</sup>貞竹は残らず枯死したが破竹<sup>やぶ</sup>女竹は枯れはかつた
- (21) 嘉永二年七月八日 (一八四九) 大凧雨
- (22) 嘉永三年 (一八五〇) 大凧雨
- (23) 嘉永五年六月 (一八五二) 旱はつが四二日尙続き畑作物は皆無となる。
- (24) 嘉永六年六月迄 (一八五三) 大旱はつが五二日続く
- (25) 嘉永七年十月四日 (安政元年) (一八五四)

朝八時に地震が始まり、一時尙程続き、一二時頃より夕方までに海岸地帯では大津波が十度押し寄せ、四回目の浪は最も高く、一丈五尺に及んだ。翌五日は晴天で午後十時頃又大地震が始まり、これに続いて津波が起り、震動の激しさと津波の大きさは共に前日の三倍に達し、年貢米として道路上に積み重ねてあつた米俵の山は悉く崩れてしまつた程である。この地震は翌年八月迄断続し、海岸地帯は土地が約三尺沈下したと伝えられてゐる。

- (26) 安政二年六月一七日 (一八五五) 大旱はつ
- (27) 安政四年七月一日 (一八五七) 午前八時から大暴凧雨となり被害は元年の地震よりも甚しく、倒れた家は大野三村五六軒、立善寺清水三二軒、西方二二軒、明谷三十軒、向波淡路全部で四万一千四百軒に及んだ。
- (28) 安政七年七月一日 (萬延元年) (一八六〇)
- (29) 一一日と二八日の二回大水があり、海岸地帯は波が高くて被害が大であつた。那賀川筋の土手は残らず、切北、尾能林方面も田に海水が入り、稲の収穫は皆無となつた。
- (30) 慶応二年五月一日 (一八六六) 大水
- (31) 一年八月六日 寅年の大水 八一年前の天明五年及六年の洪水以来最大のもので、今も尚寅年の大水と呼んで伝えられてゐる。富岡の商店では品物に、全部水が入り、特に酒屋、油屋は大損害を被つた。
- (32) 明治十年十月九日 (一八七七) 大水
- (33) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (34) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (35) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (36) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (37) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (38) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (39) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (40) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (41) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (42) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (43) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (44) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (45) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (46) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (47) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (48) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (49) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (50) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (51) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (52) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (53) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (54) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (55) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (56) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (57) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (58) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (59) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (60) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (61) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (62) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (63) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (64) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (65) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (66) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (67) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (68) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (69) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (70) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (71) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (72) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (73) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (74) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (75) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (76) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (77) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (78) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (79) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (80) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (81) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (82) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (83) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (84) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (85) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (86) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (87) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (88) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (89) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (90) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (91) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (92) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (93) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (94) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (95) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (96) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (97) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (98) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (99) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水
- (100) 明治十一年九月 (一八七〇) 大水

宝蔵院の観音堂も又この時に流失した。

④ 明治二五年七月二五日(一八九三) 赤土水 海部郡高磯山が崩れて那賀川を堰止め

た爲、下流の本村附近は数日流水が無く、ける程にけり、村人は岡山や富岡山へ避難した。夜中にはつて赤土水が一時に押寄せ、堤防を越えて流北入り、床上浸水家は百軒以上に及んだ。

⑤ 大正元年九月二三日(一九一三) ニニ日より大雨が降り出し、二三日朝、岡川堤防が

岡馬場の西七十間、柳島字南別当に於て二十間に亘り決壊し、溺死者もあつた。

⑥ 大正三年五月二九日(一九一四) 大水 ⑦ 大正四年九月八日(一九一五) 暴風雨

⑧ 大正七年八月三十日(一九一八)

前田末の暴風雨により、那賀川、岡川は氾濫して、堤防の決壊は那賀川筋で横尾百二十間、柳島百間、岡川筋では柳島南別当三十間に及び、稲作は殆んど皆無に近く、田畑の荒地に

なつた面積は百町に余り、溺死者数名を出した。

⑨ 昭和九年九月二日(一九三四) 暴風雨 ⑩ 昭和二十一年一月二日(一九四六) 地震

⑪ 昭和二五年九月三日(一九五〇) 暴風雨(ジョン台風)

⑫ 昭和二五年九月一日(一九五〇) 暴風雨(ミリア台風) 勝浦川沿岸は大惨状を呈したけれども

那賀川下流では築堤工事が殆んど完成し、ガマンは堰止められ、岡川の氾濫は無く、私達の祖先が数百年末恐れられた洪水に対し安心して過すことが出来た。